

「鹿児島市立病院ネットワーク拡充業務の企画提案競技」に係る提案書作成条件

1. 基本事項

(1) 目的

鹿児島市立病院(以下「当院」という。)では、「安心安全な質の高い医療の提供」を理念として病院の運営を行っている。

また、地域医療を担う県下の中核的医療機関・地域医療支援病院として、新病院移転後、新たに生じた課題を解決し、将来にわたって高度・専門医療を提供するため、令和3年度に再整備の基本的な考え方をまとめた再整備計画を策定した一方、外部環境に目を向けると、ゲノム医療や医療へのAI導入など革新的な医療の進歩に加え、医師等の働き方改革など医療を取り巻く環境は大きく変化している。

平成27年度に導入した現在のネットワークシステムは、ハードウェアの耐用年数等により更新すべき時期がきていることに加えて、医療現場をめぐる環境が大きく変化する中で、前段に記述した今後取り組むべき課題についても、対応する必要がある。

以上の状況を踏まえ、今回実施するネットワーク更新・拡充について必要となる機能、当該機能を実現させるための方法、それらのコスト評価について提案を求めるものである。

令和4年度に行う当院のネットワーク拡充の導入基本方針については、以下のとおりである。

1. システム高度化に耐えうる、ネットワークの高速化・大容量化
2. ネットワークシステムのソフト・ハード面での2重化等による、耐障害性の確保
3. SDNを導入し、ネットワーク設定変更等の即応性・障害時におけるシステム停止時間の短縮化・保守性の容易さの向上
4. 無線LANについて、WIFI6に対応したアクセスポイントを導入するとともに、アクセスポイントを増設し、無線LANがつながりにくい箇所の解消を図る。
5. セキュリティを担保したインターネットへの接続
6. 病院再整備への対応
7. PHSからスマートフォン化の対応
8. その他将来性を見据えたネットワークにかかる先進的なシステムの構築・導入

なお、新しい技術を利用した提案も可能とするが、提案を行う場合は、本仕様書と同等以上の性能が確保できている事を前提とする。

ネットワークの拡充において業務委託が必要となるため、病院ネットワーク拡充業務について、当院が委託を行う業者(以下「受託者」という。)を選定する目的で、企画提案競技による業者選定を実施する。

選定に当たっては、病院ネットワーク拡充業務への提案内容のほか、令和5年度以降の費用を含む保守の内容についても併せて審査を実施する。

提案審査を行い、最も優れた提案を行ったものを受託者として決定し、令和4年度の契約を行い、病院ネットワーク拡充業務の委託を実施する。

なお令和5年度以降のシステム(ハード・ソフト含む)保守業務については、受託者に委託することを想定しているが、当該事業年度の歳入歳出予算において関連予算が鹿児島市議会で可決された場合に、当該事業年度において実施するものであり、当該事業年度の委託を確

約するものではない。当該事業年度の関連予算が鹿児島市議会で可決され、事業開始にあたり、本提案において受託者となったものが当該事業の見積書を提出する際は、原則として今回提出する提案書に記載する金額の範囲内であることとする。

(2)システムの基本方針詳細について

①システム高度化に耐えうる、ネットワークの高速化・大容量化

無線LAN端末の増加やPACS等における動画サーバの導入によりデータ通信量が増えており、将来的にもその傾向は変わらないことから、ネットワークの高速化・大容量化を図る。

具体的には

- 1) コアスイッチからフロアスイッチまでを10G、リンクアグリゲーション(LAG)により20Gを確保する。
- 2) コアスイッチおよびフロアスイッチについては、10G対応とし、10G対応モジュールでの接続とする。
- 3) コアスイッチとフロアスイッチ間の配線については光ケーブルとし、フロアスイッチまでは癒着する数の倍の心線を用意する。
- 4) 今回の提案および見積は、情報コンセントおよび島HUBの更新は含まない。また、配線については、既存のネットワークの配線を活用し、必要に応じて増設するものとする。ただし、NICUに設置してあるVLAN設定を行ったスイッチ等については更新対象とする。
- 5) 市役所WANについては、フロアスイッチの更新を行う。

②ネットワークシステムの耐障害性確保(機器及び経路の2重化)

現在のシステムと同様、コアスイッチを電源も含めて2重化し、各フロアスイッチへのルートを2系統確保するとともに、LAGにより、広帯域と冗長性を確保する。またフロアスイッチはスタック構成等により、2重化を行うこと。また各フロアスイッチにUPS(無停電電源装置)を設置すること。なお市役所WANについては、システム的な2重化は行わず、スイッチの障害に対しては、コールドスタンバイでの病院職員による障害対応を行うものとする。

③SDNを導入し、ネットワーク設定変更等の即応性・障害時におけるシステム停止時間の短縮化・保守性の容易さの向上

電子カルテシステムを含む医療情報システムは、計画的なものを除いては、停止時間を可能な限りゼロにすることが求められており、計画的なものであってもそのシステムの性格上、可能な限り短くできることが望ましい。また絶えず変化する診療現場の環境変化に対応すべく、ネットワークの設定変更にも柔軟に素早く対応する必要に迫られている。上記を踏まえた上で、SDNを導入し、無線LANアクセスポイントを管理する仕組みを含む病院全体のネットワーク管理・監視が行えるシステムの提案を行うとともに、担当者が数年のサイクルで入れ替わるという自治体病院の体制を考慮したシステムの導入とそのサポート体制の提案をもとめる。なお市役所WANについては、設置したスイッチ等の機器保守のみを想定している。

④無線LANについて、WIFI6に対応したアクセスポイントを導入するとともに、アクセスポイントを増設し、無線LANがつながりにくい箇所の解消を図る。

規格については IEEE802.11ax(WIFI6)を想定している。POEによる接続とし、1台のAPを複数のネットワークシステムのAPとして利用することで、コストの削減等を図る。なお無線LANを

使用するのはHISと院内インターネット系統(職員用・患者用)で、市役所WANでは使用しない。またQosを用いてHIS系統のネットワーク帯域を確保するような設定を行うこととする。なお無線AP機器はコントローラタイプでコントローラについても2重化するものとし、③で述べた保守性等について考慮された提案を行う。AP機器数として210台前後を想定している。なお、増設するAPについては、直近のスイッチまで配線を行うものとする。

⑤セキュリティを担保したインターネットへの接続

現在電子カルテシステムは、ウィルスパターンダウンロードを除き外部接続を行っておらず、リモートメンテナンスについては、VPN等の専用回線を通じて接続を行っている。また当院においては、電子カルテシステムと院内LAN(インターネット用ネットワーク)とでファイアウォールを共有して利用している。本提案においてはその点を踏まえた上で、外部接続を行うためのファイアウォール・DMZを提案するものとする。なお、現在複数あるリモートメンテナンス用回線の統合についても提案に含むものとする。

⑥病院再整備への対応

令和6年度から8年度に予定している病院の再整備に対応できるネットワークの構成とすること。(鹿児島市立病院再整備計画を参照)

⑦PHSからスマートフォン化の対応

現在、院内の移動通信手段としてPHSを使用しているが、今後、スマートフォンへの切り替えを検討している。院内の移動通信手段をスマートフォンにした場合、現在アクセスポイントが設置されていない階段等へのアクセスポイントの増設等が予想される。スマートフォン化した場合のネットワークの構成等について提案するものとする。

- 1) 今回の提案見積の範囲内で提案できるもの。
- 2) 今回の提案見積の範囲内では実現できないが、スマートフォン化の対応に必要なネットワーク機器の構成や導入費用を含めて提案する。この費用は参考見積もりとし、本提案の見積もり費用とは別に記載する。

⑧その他将来性を見据えたネットワークにかかる先進的なシステムの構築・導入

- 1) 今回の提案見積の範囲内で提案できる、先進的な機能について提案する。
- 2) 今回の提案見積の範囲内では実現できないが、オプションとして提供できる機能について、その導入費用を含めて提案する。この費用は参考見積もりとし、本提案の見積もり費用とは別に記載する。

(3) 当院の概要等

項目	概要
医療機関名称	鹿児島市立病院
住所	〒890-8760 鹿児島市上荒田町 37 番 1 号
診療科	内科、血液・膠原病内科、糖尿・内分泌内科、腎臓内科、脳神経内科、消化器内科、腫瘍内科、循環器内科、呼吸器内科、リウマチ科、小児科、新生児内科、精神科、放射線科、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科、病理診断科

病床数	合計 574 床 (一般病床 568 床 感染症病床 6 床)
外来患者数(平均)	792人/日(令和3年度・土日祝祭日受診を除いて算出)
入院患者在院数(平均)	467人/日(令和3年度・全日・退院日を含んで計算)
新規入院患者数(平均)	36人/日(令和3年度・全日・退院日を含んで計算)
平均在院日数	11.4日(令和3年度)
レセプト件数 (令和4年4月)	外来 10,714 件 入院 1,413 件
外来紹介患者件数	1,162 件/月(令和3年度)
職員数 (令和4年4月1日現在)	医師 職員 139 名・会計年度任用職員 179 名 看護職員 職員 587 名・会計年度職員 143 名 医療技術職員 職員 146 名・会計年度任用職員 40 名 事務技術職員 49 名・会計年度任用職員 87 名 技能技術職員 会計年度任用職員 112 名
現行システムについて	1. 電子カルテシステム 電子カルテシステム HOPE/EGMAIN-GX 以下機能含む オーダーリング機能 歯科機能 看護支援機能 チーム医療機能 簡易部門機能(手術、透析、内視鏡) 診療支援機能(パス、レジメン、糖尿病患者支援、正常新生児管理) 重症病棟支援システム(ICU) 看護支援機能 (アナムネ・看護診断・計画・問題・ケア、経過表、指示受け・確認、看護記録、サマリ、ワークシート、管理日誌、必要度、患者認証) チーム医療機能 (NST、褥瘡、緩和ケア、呼吸器ケア、ストーマ外来、フットケア外来、リンパ浮腫外来、乳房外来、皮膚・排泄ケア、専門外来予約、高気圧酸素依頼、認定看護師相談依頼、臨床心理士依頼、医療連携シート、退院支援・調整シート) カルテ参照機能 HOPE/DWH-GX 診療 DWH HOPE/DWH-GX 医事会計システム HOPE/X-Win 物流システム HOPE/PDSIDE グループウェア Comedix 医事統計・DWH/DPC 分析 DPCCompass レセプト債権管理システム 富士通 Japan 未収金管理システム 富士通 Japan レセプトチェックシステム 富士通 Japan

調剤支援システム	トーショー
服薬指導システム	トーショー(インフォコム)
医薬品情報提供システム(DICS)	
注射部門システム	パナソニック
自動採血管準備装置	テクノメディカ
臨床検査システム	オネスト
細菌検査システム	オネスト
感染管理システム	オネスト
病理検査システム	正晃
輸血検査システム	オネスト
放射線システム	富士フィルムメディカル
画像管理システム(放射線)	富士フィルムメディカル
内視鏡システム	富士フィルムメディカル
生理検査システム	キシヤ
生理系システム	日本光電
生理系システム	フクダ電子
自科検査システム	Beeline
スポットチェックモニタ	フクダコーリン
麻酔記録システム	日本光電
診療情報ファイリングシステム(Medoc)	富士通 Japan
インシデント管理システム	セーフマスター
自動再来受付機システム	アルメックス
患者案内表示板システム	富士通ゼネラル
オートエンポッサ	アルメックス
診断書作成システム(メディパピルス)	ニッセイ情報テクノロジー
FILEMAKER サーバシステム	富士通 Japan
資源管理システム(HOPE/瞬快)	富士通 Japan
会計表示板システム	アルメックス
自動精算機システム	アルメックス
看護勤務・職員勤務システム	システムバンク・日本システム
リハビリシステム	ソフトサービス
栄養管理システム	グリーム
生体情報管理システム	日本光電
生体情報管理システム	フクダ電子
重症者監視(NICU)システム	フィリップス
分娩監視システム	アトム
透析機器連携 GW	富士通 Japan
麻酔記録管理システム	日本光電
ナースコールシステム	ケアコム
地域連携支援システム	富士通 Japan
PocketChart(旧PDA)	富士通 Japan
健診システム	エイビス
病歴管理システム	富士通 Japan
術中動画システム	セブンスディメンジョンデザイン
ME 機器管理システム	九州テン

	<p>がん登録システム HOS-CAN 人事給与システム KKC 財務会計システム MIC 既読管理システム Cita Light</p> <p>2. 職員用 LAN(Wi-Fi)(職員用インターネット) 3. 患者用 Wi-Fi(患者用インターネット) 4. 市役所 WAN(市役所配下の業務ネットワーク)</p>
<p>現行システム機器数</p>	<p>1. 電子カルテシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーバ 約80台 ・デスクトップPC 600台 ・ノートPC 400台 ・ラベルプリンタ 142台 ・レーザープリンタ(モノクロ・カラー) 250台 ・PDA 50台 ・タブレット端末 50台 ・その他検査機器(エコー・ベッドサイドモニタ等) 多数 <p>2. 院内LAN</p> <p>(1)サーバ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メールサーバ ・DNSサーバ ・グループウェアサーバ ・ファイアウォール <p>(2)有線クライアント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公用端末 200台程度 ・私用端末 150台程度 <p>(3)無線クライアント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・RADIUSサーバによるMAC認証機能を備える ・150台程度 <p>3. 市役所WAN</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公用端末(有線)のみ 50台程度 ・プリンタ・NASあり
<p>ネットワーク機器</p>	<p>(1)コアスイッチ(Catalyst4506-E)</p> <ul style="list-style-type: none"> 4506 本体×2 48 ポートモジュール×2 12 ポート SFP モジュール×2 <p>(2)サーバスイッチ(Catalyst2960S)</p> <ul style="list-style-type: none"> 48 ポート×5 24 ポート×3 <p>サーバスイッチ(Catalyst9300)2020年度導入</p> <ul style="list-style-type: none"> 24 ポート×2

	<p>サーバスイッチ (Catalyst9200L) 2020 年度導入</p> <p>48 ポート×2</p> <p>24 ポート×3</p> <p>(3)フロアスイッチ (Catalyst2960S)</p> <p>48 ポート×8</p> <p>(4)エッジスイッチ (Catalyst2960S、2960X)</p> <p>48 ポート×64</p> <p>24 ポート×1</p> <p>(5)無線AP (Aironet2702)</p> <p>2702 本体×200</p> <p>(6)UPS</p> <p>ラックマウント型 (SMX3000RMJ相当) ×2</p> <p>ラックマウント型 (SMT1500RMJ相当) ×1</p> <p>自立型 (SMT1500J相当) ×8</p> <p>(7)ファイアウォール</p> <p>FortiGate200D</p> <p>FortiGate60C</p>
--	--

2. 令和4年度における委託業務の概要

(1) ネットワーク設計等・納品・本番更新・更新後支援等

- ① 現況調査および現地調査、要件定義・基本設計・詳細設計
- ② 配線作業およびテスト
- ③ ネットワーク切替計画
- ④ 納品
- ⑤ 更新前調整
- ⑥ 本番更新時の立会、更新後調整
- ⑦ 設定運用方法についてのマニュアル作成・操作研修
- ⑧ その他必要な事項

3. 企画提案競技による業者選定スケジュールについて

契約までのスケジュールはおおむね以下のとおりとする。

内容	日程
(1) 告示	令和4年5月27日(金)
(2) 参加申込書提出期限	令和4年6月10日(金) 17:15
(3) 質問受付期限	令和4年6月17日(金) 17:15まで
(4) 質問回答	令和4年6月21日(火) 17:15までに
(5) 提案書提出期限	令和4年6月24日(金) 17:15

(6)選定結果通知	令和4年7月上旬
(7)最優秀提案事業者との協議・仕様調整	令和4年7月中旬
(8)委託契約	令和4年7月下旬

4. その他基本事項

- ①システムの導入に際しては、業務に関する知識・能力、技術力、要員数及び役割分担等を含めた十分な体制と拠点を設け、当院との各種協議や導入がスムーズに行えるよう体制を整えること。
- ②ソフトウェア、システム構築及びその他作業全ての経費等は受託者側の負担とすること。
- ③受託者はシステム拡充等におけるプロジェクト管理及びその他関連する作業等すべてを当該委託範囲として実施すること。既存業務システムベンダーとの調整は、当院も対応支援を行うが、受託者が主体的に行うこと。また、ネットワーク更新による業務システムへの影響があった場合は、受託者が責任をもって主体的に対応すること。
- ④契約不適合責任期間として納入完了後から1年間は無償での障害対応を実施すること。
- ⑤障害時の対応については、電子カルテシステムベンダーと協力の上、障害等の切り分けを行える体制を整えること(ソフト・ハードとも)。またネットワークに関する障害発生状況を提案者側で管理し、発生原因等結果報告・善後策等を当院に障害発生後速やかに提示すること。
- ⑥当院の職員が行う全体的なシステムの運用及び管理業務は、職員に負担のかからない簡易なシステム運用業務にとどめるための機能を充実させ、ハードウェア障害等の対応は、保守業者が迅速に対応できる体制を構築すること。
- ⑦運用時間は365日24時間運転を基本とし、定期的な電源設備点検等の実施時においても、運用に支障をきたさないシステムの構築を行うこと。
- ⑧システムの障害監視について、IP-VPN等の閉鎖的な回線を用いたリモートメンテナンスを実施するものとし、障害に対する機密性、可用性を高めること。なお同様のセキュリティが担保され、運用費用等のコスト負担が低減あるいは同等である場合に限り、他の技術を用いた形でのリモートメンテナンスの提案を可とする。
- ⑨受託者は、業務上知りえた個人情報について、紛失、破損、盗難、漏えい及び目的外使用が生じることのないよう、必要な情報防護策を講じること。
- ⑩受託者は、当院の機密に関する事項及び個人情報を含む診療情報等のプライバシーに関する事項について契約期間中および契約期間終了後においても他に漏らしてはならない。
- ⑪受託者は、病院事務に関する各種情報を適切な措置を講じた場所で保管しなければならない。また当院からの指示又は許可された場合を除き、個人情報を含む診療情報を複写し、又は複製してはならない。
- ⑫当院において規定している「秘密情報等取扱特記事項」か、それと同等以上の秘密情報等取扱に関する規定を契約締結時に盛り込むこと。
- ⑬「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」、「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」および「医療情報を受託管理する情報処理事業者向けガイドライン」を理解し、ガイドラインに沿った適切な運用を行えるシステムを提案するとともに、ガイドラインの見直しがあった場合には、適切な情報提供を行い、システムの改修が必要

な場合でも柔軟に対応できるシステムの構築を行うこと。

5. 成果品について

当該システム導入後に、成果品として以下のものをドキュメントファイル・読取可能なデータとして納品すること

①病院ネットワーク設計書(システム協議・設計における設計書)

- ・ソフトウェア関連資料(設計資料, マニュアル等)
- ・システムの試験仕様書
- ・運用試験仕様書
- ・システム機能検査結果報告書(システム操作研修及び運用試験にて実施した結果)
- ・システム運用マニュアル
- ・システム管理者用運用マニュアル

②機器及びソフトウェアの導入関連

- ・導入機器及びソフトウェア一覧表(仕様・性能及び数量等を記載)
- ・ネットワーク構成図(HIS・院内LAN(職員用・患者用)・市役所WANのネットワーク機器接続がわかるもの)
- ・機器収納ラック搭載図(寸法, 積載荷重, 消費電力等を記載)
- ・機器設定内容書(機器及びソフトウェア, ネットワークを個別に作成し提出)
- ・機器設定手順書(機器及びソフトウェア, ネットワークを個別に作成し提出)
- ・物品納入検査結果報告書
- ・設定/稼働確認検査結果報告書

③工事関連(ネットワーク, 機器設置)

- ・ネットワーク工事施行図面
- ・ネットワーク工事写真台帳(施工前, 施工中, 施工後の写真を掲載)
- ・ネットワーク工事関連検査結果報告書(ケーブル検査, 疎通検討結果含む)

④その他関連

- ・プロジェクト管理等に係る資料(マスタスケジュール進捗管理報告書, 議事録, 課題等管理表)
- ・システム導入連絡体制図(会社, 要員体制, 連絡先等)
- ・システム保守連絡体制図(会社, 要員体制, 通常連絡先, 緊急連絡先等)
- ・機器等取扱説明書(機器及びソフトウェア, ネットワーク, その他設備等を個別に提出)

6. 損害賠償について

業務の履行にあたり、受託者の故意または過失、その他受託者の責めに帰すべき事由により、当院に損害が生じたときは、受託者は、その損害を賠償しなければならない。

7. システム導入に係る要求事項(システム提案要件)

(1) ハードウェア要件(別表の「病院ネットワーク構成図」を参照すること)

※配線については、既存のネットワークの配線を活用し、必要に応じて増設するものとする。
当該要件は電子カルテ・院内LAN(職員用・患者用)・市役所WANのネットワークすべてに該当する。

① コアスイッチの構成要件

- ・当院のシステム内容やサーバ数・端末数を考慮したうえで、信頼性の高い機器を提案すること。
- ・コアスイッチの2重化については、CPUと電源を2重化した構成で提案すること。
- ・コアスイッチ2重化に際し、コアスイッチ間の接続が必要なものについては、その間の接続を10Gとし、LAGにより20Gの帯域を確保するものとする。
- ・タグVLANを使って、HIS・院内LAN(職員用・患者用)のVLAN接続を行う想定とする。
- ・市役所WANについては、本提案で用意するコアスイッチを経由しないものとする。
- ・UPSを設置することで、電源停止時も一定時間障害なく稼働する構成とすること。

② フロアスイッチ・エッジスイッチ・サーバスイッチ・情報コンセント・島HUBまでの構成要件

- ・当院のシステム内容やサーバ数・端末数を考慮したうえで、信頼性の高い機器を提案すること。
- ・サーバスイッチについては、現行のサーバスイッチ台数を参考に数を見積ること。なおサーバ～サーバスイッチ間については、1G(UTP)での接続を想定している。現行構成を変更する際は接続サーバへの影響を確認し、設定変更が生じる場合その作業費も見積りに含めること。
- ・情報コンセントの数については、詳細設計時に最終数を確定するが、今回の見積りにおいては、下記表を参考にして、フロアスイッチ・エッジスイッチ数を算出するものとする。

フロア名	情報コンセント数(概数)
1Fフロア	500
2Fフロア	400
3Fフロア	380
4Fフロア	260
5Fフロア	180
6Fフロア	160
7Fフロア	160
8Fフロア	160
合計	2, 200

- ・フロアスイッチについてはスタック構成とし、コアスイッチ～フロアスイッチ間は10Gでの接続とし、LAGによる20Gの帯域を確保するものとする。
- ・UPSを設置することで、電源停止時も一定時間障害なく稼働する構成とすること。
- ・コアスイッチ～フロアスイッチ間・コアスイッチ～サーバスイッチ間の接続は10Gでの接続とし、MMF(OM-3準拠)あるいはSMFを利用するものとする。
- ・ポートVLAN(スタティック)により、接続する端末を制御することを想定している。各フロアスイッチのポートの構成は、契約後の詳細設計等で決定するものとする。

- ・フロアスイッチ～エッジスイッチまでは、LAGにより2Gの帯域を確保するものとする。
- ・エッジスイッチ～島HUB間は、1G (UTP) による接続とする。

③無線LANアクセスポイント(AP)の構成要件

- ・規格については IEEE802.11ax で、POE による接続を想定している。
- ・当院が現在有する4系統のネットワークのうち3つ(HIS・院内LAN(職員用・患者用))について、同じAPを共有するが SSID は別々としセキュリティを確保するものとする。
- ・Qosを用いてHIS系統のネットワーク帯域を確保するような設定を行う。
- ・AP台数については、210台前後と考えている。
- ・無線AP機器は専用コントローラにて管理可能な機器とし、コントローラは2重化するものとする。コントローラの障害により無線APの管理ができない状況下にあっても、冗長化したコントローラにより遅延なく動作する仕様とするか、あるいはコントローラの障害があっても、動作を継続できる無線AP機器を導入するものとする。
- ・無線の認証方式はRADIUSサーバによる認証とし、認証サーバも提案に含む。またこのサーバによりHISの無線機器(PDA・ノートPC・iPad)とインターネットの無線機器(ノートPC・タブレットPC・スマートフォン等)を認証する。
- ・既存機器のうち、HISの無線機器(PDA・ノートPC・iPad)にかかる設定変更作業について今回の提案に含むものとする。インターネット(院内LAN)の設定変更作業については、当院側の作業とする。

④セキュリティを担保したインターネットへの接続にかかる構成要件

- ・現在当院では、HISからのインターネット接続について、ファイアウォールを通じてウイルス対策用のみの接続を行っている。また、リモートメンテナンスについては、VPN等の専用回線を通じて接続を行っている。今回導入するDMZ・ファイアウォールを院内LAN(職員用・患者用)ファイアウォールとしても使用するので、接続機器台数に見合ったスペックの機種を導入すること。

⑤市役所WANのシステム構成要件

- ・配線は既存の配線を活用する。
- ・フロアスイッチの機器の更新を行う。
- ・市役所側で用意するルータの更新は行わない。
- ・島ハブの更新は行わない。

⑥情報コンセント・島HUB以降の接続について

- ・今回の提案では情報コンセント・島HUBまで・島ハブ以降の配線は、既存の配線を活用するものとする。
- ・情報コンセントの更新は行わない。
- ・島ハブについては、NICUに設置してあるVLAN設定を行ったスイッチ等については更新対象とする。
- ・下記表に基づいて島HUBを用意すること。

部材名	規格	数量	備考
島HUB(VLAN設定可能な機種)	8ポート	40	予備機含む
	24ポート	10	予備機含む

(2)ソフトウェア要件

①ネットワーク監視システムについて

- ・ネットワークの障害状況が可視化して参照できる機能を提案すること。その機能については、ネットワークについて深い知識を持たなくても、ある程度の理解で状況が把握できるものを提供するものとする。なお市役所WANについては、ネットワーク監視の対象としなくても可とする。

②VLAN等の設定変更方法、障害発生時の対応について(保守要件)

- ・VLAN等の設定変更を行う場合に、ある程度の知識あるいは研修をこなすことで、病院側でも設定変更可能な機能を提案すること。またその際にはシステム全体への影響を引き起こさないような仕組みとすること。
- ・上記については、時間内(病院勤務時間 8:30~17:15に合わせた日中時間帯)のQA対応を可能とし、あわせてリモート監視により24時間・365日の体制で対応すること。実際に障害が起こった場合で、リモートでは対応不可能な場合は、即座に保守要員を派遣できること。
- ・機器の2重化等により実質的な障害が発生しなかった場合でも、障害発生機器の入れ替え等が発生すると思われるが、その際においてもシステムを停止することなく対応可能なシステムを提案すること。障害の発生した場合、上流のスイッチについては即座に対応できる体制を、交換可能なスイッチのうち保守対象のものについては、交換後翌日以降できるだけ早い期間で部品交換・修理を行うこと。
- ・実際に障害が起こってしまった場合には、電子カルテベンダーである富士通 Japan(株)と協力し、障害の切り分けや復旧に最大限の努力を図る。またリモート監視により遠隔からの障害対応が可能な場合は、リモート監視の内容についても提案し、見積もりに含めるものとする。
- ・市役所WANについては、リモート監視の対象とはしないが、機器の保守は行うものとする。なお市役所WAN内でVLANの設定は行わないので、スイッチの障害があった場合には、コールドスタンバイのHUBを病院職員で入れ替えを行う対応とする。

(3)PHSからスマートフォン化にかかる要件

1-(2)-⑦の「PHSからスマートフォン化の対応」について、

- ①今回の提案見積の範囲内で提案できるもの
 - ②今回の提案見積の範囲内では実現できないが、スマートフォン化の対応に必要なネットワーク機器の構成や導入費用を含めて提案する。
- ①については、本提案に含まれていて、かつ提案書における見積金額で導入できるものとし、②については本提案書の見積には含まず、参考見積もりとし、本提案の見積もり費用とは別に記載する。

(4)先進的なシステムにかかる要件

1-(2)-⑧の「その他将来性を見据えたネットワークにかかる先進的なシステムの構築・導入」について、

- ①今回の提案見積の範囲内で提案できる、先進的な機能

②今回の提案見積の範囲内では実現できないが、オプションとして提供できる先進機能を提案する。①については、本提案に含まれていて、かつ提案書における見積金額で導入できるものとし、②については本提案書の見積には含まれないが、ぜひ導入したほうがよいと思われるシステムとする。

8. 提案したシステムにおける具体的な画面遷移および手順

以下の状況における、画面操作や手順について、概要を提案書内に添付すること。

- ①スイッチの障害が起こった場合に、未設定のスイッチを病院側で交換する場合の画面操作および手順
- ②スイッチ上の院内LANポートをHIS用ポートに変更する場合のポートVLANの設定方法
- ③ネットワーク監視端末からのネットワーク状況監視画面およびネットワーク障害時の画面表示

9. 導入効果について

(1) 提案者が受託した場合の効果について

提案者が受託した場合の効果や独自性をアピールできる事項について提案すること。

(2) 導入経費削減について

今回の提案内で、導入経費削減のために採用した方策があれば提案すること。効果について具体的な数字が挙げられる場合には、それも併せて提案すること。

10. 導入費用の経費積算等について

(1) ハードウェア導入経費について

① コアスイッチ・フロアスイッチ・無線LANアクセスポイント・コアスイッチ・サーバスイッチ～フロアスイッチ～情報コンセント～島HUBまでの部材等の見積要件

ア) 7-(1)-①・②・③を熟読した上で見積もること。備考欄に定価と値引き率を記載すること。設置調整費用がある場合は、それについても記載する(機器に含まれる場合はその旨を記載すること)。

イ) フロアスイッチの設置台数については、設置する情報コンセント数等を勘案したうえで提案者側が提案するものとする。

ウ) ここでの見積もりは機器部分のみとし、設定・配線に対する役務費用等は後段で別に見積もること。

エ) UPS、スイッチ間のケーブル・モジュール等の部材を見積もりに含む。なお当該項目には次号②・③の部材も含むものとする。

オ) 電源工事は含まない。

② セキュリティを担保したインターネットへの接続にかかるハードウェア導入経費

ア) 7-(1)-④を熟読した上で見積もること。備考欄に定価と値引き率を記載すること。設置調整費用がある場合は、それについても記載する(機器に含まれる場合はその旨を記載すること)。

イ)ここでの見積もりは機器部分のみとし、設定・配線に対する役務費等は後段で別に見積もること。

③市役所WANの見積要件

ア)7-(1)-⑤を熟読した上で見積もること。備考欄に定価と値引き率を記載すること。設置調整費用がある場合は、それについても記載する(機器に含まれる場合はその旨を記載すること)。

イ)フロアスイッチの設置台数については、設置する情報コンセント数等を勘案したうえで提案者側が提案するものとする。

ウ)ここでの見積もりは機器部分のみとし、設定に対する役務費等は後段で別に見積もること。

④情報コンセント以降の部材の見積要件

ア)7-(1)-⑥を熟読した上で見積もること。

イ)島HUBについては、L2スイッチ(VLAN設定が可能なもの)とし、数量については別表のとおりとする(家庭用ではなく、業務使用に耐えうるものを提案すること)。

(2)ソフトウェア導入経費について

①ソフトウェアの見積

ア)提案するシステムについて、市販のソフトウェアが必要である場合は、その経費を見積もる。導入費用がある場合は、それについても記載する(ソフトウェア経費に含まれる場合はその旨を記載すること)

イ)ソフトウェア経費自体がハードウェアに含まれる場合は、その旨を記載すること。

②ネットワーク構築費用の見積

ア)ここに含まれる費用は、上記(1)・(2)-①に含まれない、ネットワーク設定費用や進行管理費用、打ち合わせ費用等技術料や人件費にかかる費用とする。(業務システムベンダとの確認に費用が発生する場合には、その費用を含むこと。提案機器設置等による工事が発生する場合には、その費用を含むこと。更新対象機器の解体作業および撤去の費用を含むこと。また、撤去機器については、当院内の指定の場所へ集約すること。)

イ)7-(1)-①・②・③・⑤の構築費用(HIS・インターネット(職員用・患者用)および市役所WAN)と7-(1)-④の構築費用(外部接続費用)を分けて見積もること。

ウ)その他で内訳が記載できるものは、内訳を記載すること。

③その他導入にかかる費用

ここに含まれる費用は、その他導入経費(上記(1)・(2)-①・②に含まれないもの)とするので、それぞれを項目立てて記載すること。

11. 運用費用の経費積算等について

(1)ハードウェア運用経費について

7-(1)-①・②・③・④・⑤を熟読した上で、月額を見積もること。情報コンセント以降に設置するHUBについては保守に含めないものとする。なお導入後1年間は無償での保証期間とする。内

訳が記載できるものについては、可能な限り内訳を記載すること。

(2)ソフトウェア運用経費について

導入するソフトウェアの保守料について月額を見積もる。なお原則として導入後 1 年間は無償での保証期間とするが、対応が不可能であれば、その旨を記載すること。内訳が記載できるものについては、可能な限り内訳を記載すること。

(3)システム運用経費について

ネットワークシステム保守経費のうち、(1)・(2)に含まれない保守費用について月額を見積もる。原則として導入後 1 年間は無償での保証期間とするが、対応が不可能であれば、その旨を記載すること。リモートメンテナンス費用等はここに含まれる。内訳が記載できるものについては、可能な限り内訳を記載すること

12. PHSからスマートフォン化にかかる費用積算等について

7-(3)-②に記載された、スマートフォン化にかかる費用の見積もりを提出する。明細としてソフトウェア部分とハードウェア部分を分けて記載すること。

13. 先進的なシステムにかかる費用積算等について

7-(4)-②に記載された、先進的なシステムの見積もりを提出する。明細としてソフトウェア部分とハードウェア部分を分けて記載すること。機能と費用を総合的に判断したうえで採用を検討する。

14. 導入実績について

500床以上の医療機関のネットワークシステム導入実績について、導入した医療機関の名称、病床数、公立・民間の別、稼働した年度を記載する。

なお

- (1)提案者自身が受託者となり、直接施工したもの(ネットワーク等統合を行った場合はその旨を記載)
- (2)コンサルテーションでの参加
- (3)他の受託者の下で、再委託として受注・施工したもの
- (4)機器供給による参加
- (5)その他の形態で参加

を区別して記載し、(5)の場合は具体的な参加形態を記載すること。複数回答を不可とするので、たとえば同じ病院での実績を(1)と(2)に重ねて記載することはできない。

15. 電子カルテシステムを含むシステムの全体図

今回提案するシステムについて、下記に示すものを提出すること。なお紙での提出サイズは原則としてA3サイズとする。

- ①ネットワーク構成全体概要図
- ②提案する機器明細および機器数

16. システム要件(スペック)について

今回の提案におけるシステム要件(スペック)については、別紙のとおりとする。項目ごとに対応の可否を記載し、対応不可であればその理由を記載する(代替措置があればその旨記載する)。

17. 提案書の作成条件

提案書については、前述の項目1から 16 までを熟読し、内容について理解・承知した上で作成すること。

(1) 作成書類について

作成書類は、以下に示す区分ごとに分けて作成し、紙媒体(製本せずファイルに綴じる形態)及び電子記憶媒体に記録したものを提出すること。

	書類の種類	記載内容等	紙媒体での提出部数	電子記憶媒体での提出
1	提案書	提案内容について記載されたもの	10部	要
2	その他添付資料	提案者が必要と考える添付資料	10部	要

※各種提出書類は、MS-WORD、MS-POWERPOINT、MS-EXCELのいずれかで作成するものとし、それぞれのソフトのバージョン2019で支障なく読み取れる形式で保存する。サイズは原則A4とするが、全体図等大判が見やすいと判断されるものについては、A3を基本とする。

※電子記憶媒体は「CD-R」または「DVD-R」とし、これに記録したうえで、正副2本を提出する。

(2) 提案書の記載項目及び記載条件等

提案書は、以下に示す項目等の目次及び記述内容等に従って作成を行うこととする。なお簡潔明瞭な表現をするとともに、専門知識がないものにも分かりやすい表現にすること。また提案内容については当院の実情と将来的な方向性に即した提案を心がけること。

目次の項番と項目名等	記述内容等
1. 基本事項 (1) 目的	・本提案における 1-(1)目的を熟読し、提案者が協力・実現できることをアピールするとともに、提案するシステムのコンセプト・強み等を記載する。内容や形態等については提案者の自由とする。
(2) システムの基本方針詳細について	・本文中の(2)①～⑧に対して、提案者が実施できる内容を①～⑧に項目立てて概要を記載する。

<p>2. 令和4年度における委託業務の概要</p> <p>(1) 4年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2-(1)に関して、導入に必要な業務を項目ごとに記載し、その業務を当院と受託者が「主」・「従」のどちらの立場で携わるかについて記載する。なお記載された業務以外で追加すべき項目について記載することを妨げない。 ・導入からサービスインまでのスケジュールについて、上段の項目、プロジェクト進捗会議の開催予定および現時点で把握できる業務をWBS(ワーク・ブレイクダウン・スケジュール)やマイルストーンを用いた上で、わかりやすく提案する。 ・ネットワーク切替計画概要を提案書に記載すること。 当院は、県下の中核的医療機関であり、業務停止が非常に厳しいことから、入替時のネットワーク停止を段階的にする、かつ停止時間を短縮する方式をとるなど、ネットワーク切替における診療業務影響を最小化する提案を行うこと。
<p>3. 企画提案競技による業者選定スケジュールについて</p>	<p>記載の必要なし</p>
<p>4. その他基本事項</p> <p>(1) システム導入に対する体制について</p> <p>(2) 導入後に関する基本事項</p> <p>① 保守の体制について</p> <p>② システムの可用性・継続性について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受託者がシステム導入を行う場合のプロジェクトの人的体制(人数、個別の医療機関システム導入経験(箇所数と主な病院名とその役割(PM・SE・PG等)を記載)、保有資格)を記載する。 ・導入についてどのような体制で進捗管理していくかについて、提示する。 ・ハードウェア保守、システム保守別に、誰がどのような体制でどういう保守を提供できるかを記載する。費用については、後段の「11. 運用費用の経費積算等について」の欄で、ハードウェア・システムそれぞれの保守料を記載する。 ・1-(1)、(2)を熟読した上で、障害、災害、不正侵入、等の脅威に対する対策を具体的に記載する。
<p>5. 成果品について</p>	<p>当該項目に掲示された成果品について、納品の可否を記載すること。</p>
<p>6. 損害賠償について</p>	<p>記載の必要なし</p>

<p>7. システム導入に係る要求事項(システム提案要件)</p> <p>(1)ハードウェア要件</p> <p>①コアスイッチの構成要件</p> <p>②フロアスイッチ・エッジスイッチ・サーバスイッチの構成要件</p> <p>③無線LANアクセスポイント(AP)の構成要件</p> <p>④セキュリティを担保したインターネットへの接続にかかる構成要件</p> <p>⑤市役所WANのシステム構成要件</p> <p>⑥情報コンセント以降の接続について</p> <p>(2)ソフトウェア要件</p> <p>①ネットワーク監視システムについて</p>	<p>・本文中 7-(1)-①に記載された事項を熟読した上で、今回提案する具体的な機器構成・基本スペックについて提案すること。</p> <p>・その他本提案書の要件を踏まえた機器の仕様・構成とすること。</p> <p>・本文中 7-(1)-②に記載された事項を熟読した上で、今回提案する具体的な機器構成・基本スペックについて提案すること。</p> <p>・その他本提案書の要件を踏まえた機器の仕様・構成とすること。</p> <p>・本文中 7-(1)-③に記載された事項を熟読した上で、今回提案する具体的な機器構成・基本スペックについて提案すること。</p> <p>・その他本提案書の要件を踏まえた機器の仕様・構成とすること。</p> <p>・本文中 7-(1)-④に記載された事項を熟読した上で、今回提案する具体的な機器構成・基本スペックについて提案すること。</p> <p>・その他本提案書の要件を踏まえた機器の仕様・構成とすること。</p> <p>・本文中 7-(1)-⑤に記載された事項を熟読した上で、今回提案する具体的な機器構成・基本スペックについて提案すること。</p> <p>・その他本提案書の要件を踏まえた機器の仕様・構成とすること。</p> <p>・本文中 7-(1)-⑥に記載された事項を熟読した上で、今回提案する具体的な機器・基本スペックについて提案すること。</p> <p>・その他本提案書の要件を踏まえた機器の仕様・構成とすること。</p> <p>・本文中 7-(2)-①に記載された事項を熟読した上で、</p>
--	---

	<p>今回提案するシステムについて提案すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他本提案書の要件を踏まえた機器の仕様・構成とすること。 ・監視システムの画面遷移については、後段の「8. 提案したシステムにおける具体的な画面遷移および手順」にて記載するので、ここでは、当該システムのコンセプト等を記載する。
<p>②VLAN等の設定変更方法、障害発生時の対応について(保守要件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中 7-(2)-②に記載された事項を熟読した上で、今回提案するシステムについて提案すること。 ・本項目のその他の要件を踏まえた機器の仕様・構成とすること。 ・画面遷移については、後段の「8. 提案したシステムにおける具体的な画面遷移および手順」にて記載するので、ここでは、当該システムのコンセプト等を記載する。 ・ヘルプデスクの体制、受付時間、対応の流れについて記載する。 ・リモートメンテナンスのシステム構成について、図を交えながらわかりやすく提案する。
<p>(3)PHSからスマートフォン化にかかる要件 ①今回の提案見積の範囲内で提案できるもの</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中基本事項および 7-(3)-①に記載された事項を熟読した上で、今回提案するシステムについて提案すること。 ・この項目はオプションではなく、提案者が選ばれた場合には、見積金額内で提供するシステムとなるので、その点を考慮すること。
<p>②今回の提案見積の範囲内では実現できないが、オプションとして提案できるもの</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中基本事項および 7-(3)-②に記載された事項を熟読した上で、今回提案するシステムについて提案すること。 ・この項目はオプションとしての提案となるので、その点を考慮すること。提案者が採用された折に改めて導入の是非について検討することとなるので、現時点で実現可能なものを提案すること。本項目の機能を実現するための費用見積については、本提案の見積金額とは別で見積もるものとする。
<p>(4)先進的なシステムにかかる要件 ①今回の提案見積の範囲内で提案できる、この提案書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中基本事項および 7-(4)-①に記載された事項を

<p>作成条件に触れられていない機能</p> <p>②今回の提案見積の範囲内では実現できないが、オプションとして提供できる機能</p>	<p>熟読した上で、今回提案するシステムについて提案すること。</p> <p>・この項目はオプションではなく、提案者が選ばれた場合には、見積金額内で提供するシステムとなるので、その点を考慮すること。</p> <p>・本文中基本事項および 7-(4)-②に記載された事項を熟読した上で、今回提案するシステムについて提案すること。</p> <p>・この項目はオプションとしての提案となるので、その点を考慮すること。提案者が採用された折に改めて導入の是非について検討することとなるので、現時点で実現可能なものを提案すること。本項目の機能を実現するための費用見積については、本提案の見積金額とは別で見積もるものとする。</p>
<p>8. 具体的な画面遷移について</p> <p>①スイッチの障害が起こった場合に、未設定のスイッチを病院側で交換する場合の画面操作および手順</p> <p>②スイッチ上の院内LANポートをHIS用ポートに変更する場合のポートVLANの設定方法</p> <p>③ネットワーク監視端末からのネットワーク状況監視画面およびネットワーク障害時の画面表示</p>	<p>左の①～③について、それぞれの手順・システムの画面遷移をハードコピー等で資料として作成すること。なお現行ある標準の画面で構わない。</p>
<p>9. 導入効果について</p> <p>(1) 提案者が受託した場合の効果について</p> <p>(2) 導入経費削減について</p>	<p>今回の見積の範囲内における、提案者が受託した場合の効果や独自性をアピールできる事項について記載すること。</p> <p>今回の提案内で、導入経費削減のために採用した方策があれば提案すること。効果について具体的な数字が挙げられる場合には、それも併せて提案すること。</p>
<p>10. 導入費用の経費積算等について</p> <p>(1) ハードウェア導入経費について</p> <p>※ここに記載する費用は、ハード費用およびその導入費用である。</p> <p>※見積書として総額のわかるものを提出し、別紙「見積記載シート」に右内容に沿って、金額を記載すること。</p> <p>①コアスイッチ・フロアスイッチ・無線LANアクセスポイント・コアスイッチ・サーバスイッチ～フロアスイッチ～情報コンセント・島HUBまでの部材等の見積</p>	<p>・7-(1)-①・②・③を熟読した上で見積もること。備考欄に定価と値引き率を記載すること。設置調整費用がある場合は、それについても記載する(機器に含まれる場合</p>

	<p>はその旨を記載すること)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フロアスイッチの設置台数については、設置する情報コンセント数等を勘案したうえで提案者側が提案するものとする。 ・ここでの見積もりは機器部分のみとし、設定・配線のための役務費用等は後段で別に見積もること。 ・UPS、スイッチ間のケーブル・モジュール等の部材を見積もりに含む。なお当該項目には次号②・③の部材も含むものとする。 ・電源工事は含まない。
<p>②セキュリティを担保したインターネットへの接続にかかる見積</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・7-(1)-④を熟読した上で見積もること。備考欄に定価と値引き率を記載すること。設置調整費用がある場合は、それについても記載する(機器に含まれる場合はその旨を記載すること)。 ・ここでの見積もりは機器部分のみとし、設定・配線にかかる役務費用等は後段で別に見積もること。
<p>③市役所WANの見積要件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・7-(1)-⑤を熟読した上で見積もること。備考欄に定価と値引き率を記載すること。設置調整費用がある場合は、それについても記載する(機器に含まれる場合はその旨を記載すること)。 ・フロアスイッチの設置台数については、設置する情報コンセント数等を勘案したうえで提案者側が提案するものとする。なおサーバ室等にHUBを設置し、そこから情報コンセントまで配線することを妨げない。 ・ここでの見積もりは機器部分のみとし、設定・配線にかかる役務費用等は後段で別に見積もること。
<p>④情報コンセント以降の部材等にかかる見積要件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・7-(1)-⑥を熟読し、提示した表の部材を見積もること。 ・HUBについては、ポートVLAN設定が可能なL2スイッチを用意するものとする。
<p>(2)ソフトウェア導入経費について ①ソフトウェアの見積</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・提案するシステムについて、市販のソフトウェアが必要である場合は、その経費を見積もる。導入費用がある場合は、それについても記載する(ソフトウェア経費に含ま

<p>②ネットワーク構築費用の見積</p> <p>③その他導入にかかる費用</p>	<p>れる場合はその旨を記載すること)</p> <p>・ソフトウェア経費自体がハードウェアに含まれる場合は、その旨を記載すること。</p> <p>・ここに含まれる費用は、上記(1)・(2)-①に含まれない、ネットワーク設定費用、進行管理費用、打ち合わせ費用等技術料や人件費にかかる費用とする。</p> <p>・7-(1)-①・②・③・⑤の構築費用(HIS・インターネットおよび市役所WAN)と7-(1)-④の構築費用セキュリティを担保したインターネットへの接続)を分けて見積もること。</p> <p>・その他で内訳が記載できるものは、内訳を記載すること。</p> <p>ここに含まれる費用は、その他導入経費(上記(1)・(2)-①・②に含まれないもの)とし、それぞれを項目立てて記載すること。</p>
<p>11. 運用費用の経費積算等について</p> <p>(1)ハードウェア運用経費について</p> <p>(2)ソフトウェア運用経費について</p> <p>(3)システム運用経費について</p>	<p>7-(1)-①・②・③・④・⑤を熟読した上で、月額を見積もること。情報コンセント以降に設置するHUBについては保守に含めないものとする。なお導入後 1 年間は無償での保証期間とする。内訳が記載できるものについては、可能な限り内訳を記載すること。</p> <p>導入するソフトウェアの保守料について月額を見積もる。なお原則として導入後 1 年間は無償での保証期間とするが、対応が不可能であればその旨記載すること。内訳が記載できるものについては、可能な限り内訳を記載すること。</p> <p>ネットワークシステム保守経費のうち、(1)・(2)に含まれない保守費用について月額を見積もる。なお原則として導入後 1 年間は無償での保証期間とするが、対応が不可能であればその旨記載すること。リモートメンテナンス費用等はここに含まれる。内訳が記載できるものについては、可能な限り内訳を記載すること</p>

12. PHSからスマートフォン化にかかる費用積算等について	・7-(3)-②に記載された、本提案には含まれないスマートフォン化にかかる費用について、参考見積もりを提出する。明細としてソフトウェア部分とハードウェア部分を分けて記載すること。
13. 先進的なシステムにかかる費用積算等について	・7-(4)-②に記載された、先進的なシステムのうち、本提案には含まれない先進的なシステムについて、参考見積もりを提出する。明細としてソフトウェア部分とハードウェア部分を分けて記載すること。機能と費用を総合的に判断したうえで採用を検討する。
14. 導入実績について	500床以上の医療機関のネットワークシステム導入実績について、導入した医療機関の名称、病床数、公立・民間の別、稼働した年度を記載する。 なお (1)提案者自身が受託者となり、直接施工したもの (2)コンサルテーションでの参加 (3)他の受託者の下で再委託として受注・施工したもの (4)機器供給による参加 (5)その他の形態で参加 を区別して記載し、(5)の場合は具体的な参加形態を記載すること。1つの病院を複数項目に記載することはできない。
15.カルテシステムを含むシステムの全体図	今回提案するシステムについて、下記に示すものを提出すること。なお紙での提出サイズは原則としてA3サイズとする。 ①ネットワーク構成全体概要図 ②提案する機器明細および機器数
16. システム要件(スペック)について	16 の項目を熟読し、項目ごとに対応の可否を記載し、対応不可であればその理由を記載する(代替措置があればその旨記載する)。